

| | | | | | | | |
|-----|----|---------|-----|--------|--|---------|------|
| 種目名 | 国語 | 選定替えの有無 | 有・無 | 選定発行者名 | | 従来の発行者名 | 光村図書 |
|-----|----|---------|-----|--------|--|---------|------|

| 発行者 観 点 | 東京書籍 | 三省堂 | 教育出版 | 光村図書 | |
|-----------------------------|---|---|---|--|---|
| 1 学習指導要 領との関連 | 「言葉の力」として身につけさせたい学習のポイントが随所に示されており、資質・能力を育成しやすい工夫がされている。また、関連づけられた「学びの扉」と「学びを支える言葉の力」で基礎的な言葉の力について理解しやすい工夫がされている。 | 各教材に「思考の方法」、「語彙を豊かに」を設け、基礎的・基本的な知識・技能を習得できるように工夫されている。また、「学びの道しるべ」で学習のプロセスを示すことで、主体的・対話的で深い学びを実現できるよう工夫されている。 | 「学びナビ」というコラムで「学び方」を示し、思考力・判断力・表現力等を働かせながら習得、活用をすることで学習内容を身につけられるように工夫されている。 | 「学習」で学習過程を明確に示し、「学習の窓」で汎用的な知識・技能を示し、思考力・判断力・表現力等を働かせる際に、「学習の窓」を活用しながら学習内容を身につけられるように工夫されている。 | |
| 2 「あいちの 教育の基本理 念」との関連 | 人としての在り方・生き方を考える教材が選定されており、多様な存在を尊重し、生きていこうとする心を持った人間を育てられるよう工夫されている。 | 様々な状況の中で生きる人々の姿が描かれた教材が選定されており、世界を担う気概や意欲をもつことができるように工夫されている。 | 総合SDGs教材が全学年に設けられ、現在・将来に向き合う人間を育てようという工夫がされている。 | 様々な状況、特に海外の困難な状況の中で生きる人々の姿に触れることのできる教材を取り上げ、多様な存在を尊重し、生きていこうとする心を持った人間を育てられるよう工夫されている。 | |
| 3 内 容 | (1) 内容 の選択 | 基礎編が、問題やポイントを挙げ具体的で充実しているため、知識・技能の習得と活用に優れている。 | 「思考の方法」、「語彙を豊かに」、「読み方を学ぼう」で基礎的・基本的な技能、思考力・判断力・表現力等の汎用的な力をつけられるよう工夫されている。 | 「学びナビ」で学習の観点を明確に示し、学習過程を経ることで思考力・判断力・表現力等を育成できるよう工夫されている。 | 「学習の窓」や図解で基礎的・基本的な知識・技能を示し、学習過程で思考力・判断力・表現力等を育成できるように工夫されている。 |
| | (2) 内容 の程度 | 発達段階に応じて系統的・段階的に配置されており、領域間の関連も図られている。各学年とも充実した「基礎編」「資料編」があり、柔軟に扱うことが可能な教材が用意されている。 | 3学年で同じ単元名を使いつつ、系統的・段階的な学びへの配置がされている。読み物教材（古典含む）には、学習を活用して取り組む「学びを広げる」が設けられ、深めたり広げたりできる工夫がされている。 | 総合「SDGs」単元をはじめ、各領域でSDGsを視野に入れた幅広い分野からの話題を取り上げ、他教科の内容や実生活との関連について工夫がされている。 | 他教科やキャリア教育、日常生活、社会生活との関連を図ることができるよう題材・話題が選定されている。巻末の「学習を広げる」では、教材に関連した資料がまとめられており、補充・発展的学習への配慮がされている。 |

| | | | | |
|------------------|---|--|---|---|
| (3) 内容の構成 | 東京書籍 3領域が系統的かつバランスよく配列されている。メディアリテラシーや情報活用能力の育成を図る題材が全学年に設けられている。 | 三省堂 「領域別教材一覧」では、つけたい力として知識・技能、思考力・判断力・表現力の観点と教材、学習活動が整理されている。多様な読書活動が掲載されており、読書に取り組む姿勢が育つよう工夫されている。 | 教育出版 情報モラルやメディアリテラシーについて解説した読み物が全学年に設けられ、情報社会を生きる力を育成する工夫がされている。 | 光村図書 3領域がバランスよく系統的に配列されている。学習過程を表す言葉が「読むこと」の領域と「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域とで2種類にまとめられており、学びに向かいやすくする工夫がされている。 |
| 4 表記・表現及び使用上の便宜等 | 3領域とも学習の流れが明示されており、見通しをもって学習を進めることができる。「学びの扉」では漫画で中学生の日常から気づきを促す工夫がされている。 | 各教材のはじめに目標が示されており、見通しをもって学ぶことができるように工夫されている。「学びの道しるべ」には、振り返りのキーワードが示されており、振り返りの観点を明確に示す工夫がされている。 | 教材の前に「学びナビ」があり、観点を明確にし、学習の見通しをもてるよう工夫されている。学年ごとのカラーを基調とした配色になっており、統一感がある。 | 各教材のはじめに領域と目標が示され、「学習」が見開きになっており、見通しを持って学ぶことができるように工夫されている。QRコードが教科書の内容に連動してコンテンツを参照できる便宜が図られている。 |
| 5 印刷・造本等 | 領域や学習内容等で色分けされていたり、囲みが用いられたりし、視覚的にわかりやすい。行数に点が付され、数えやすくする配慮がされている。 | 造本は堅ろうで、十分な耐久性があり、開きやすく製本されている。印刷は鮮明で、囲み等の色を学年で統一する工夫がされている。 | 印刷は鮮明で、特別な明朝体を使用しており、筆遣いや字形を意識させるものとなっている。1年生は、2・3年生よりフォントを大きくし行間も広くする配慮がされている。 | 「話すこと・聞くこと」「書くこと」は領域ごとに色使いを統一する工夫がされている。小さな文字はUDフォントを用いて視認性を高める配慮がされている。用紙の色がややクリーム色がかっており、見やすい。 |